

「茨城県立玉造工業高等学校 グランドデザイン」 令和4年度

校訓 至誠・勤勉・協和	本年度重点目標 ・わかる授業を展開し、基礎学力の向上を図る。 ・基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図るとともに、交通安全教育の推進に努める。 ・中学校や地域と連携を図り、開かれた学校づくりに努める。	いばらき教育プラン 一人一人が輝く 教育立県を目指して ～子どもたちの自主性・自立性を育もう～
---	--	--

育てたい生徒像	目指す学校像
・工業に興味を持ち、学業などに積極的に取り組み、ものづくりや資格取得に目的意識を持って取り組む意欲のある生徒。 ・あいさつができ、教員や友人の話を素直に聞くことができる生徒。 ・規律の意義を理解し、互いの人権を尊重し、学校や社会のルールを守ることができる生徒。 ・自分の進路実現を目指し、日々努力する生徒。	・知識や技術、豊かな心と協調性を身につけた規律ある工業人を育成する。 ・意欲を持って学習や資格取得、学校生活に組み込み、地域社会で活躍できる工業人を育成する。

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本	何が身についたか ○学習評価を通じた学習指導の改善
・健康的で規則正しい生活習慣。 ・自ら学習に取り組む姿勢と基礎学力の向上。 ・希望する進路を実現するための情報収集と意識の向上。 ・規範意識の向上 ・社会常識を身につけ、地域に貢献できる態度の育成。	「教科横断的な指導」 「社会に開かれた教育課程」 ・健康的で規則正しい生活ができる。 ・進路ガイダンス、進路講話を通して一人一人が進路に対する意識を持つことができる。 ・「わからないからやらない」から、「とりあえずやってみる」気持ち（探究心）を持つことができる。 ・挨拶の励行と、校則の遵守。 ・地域社会で活躍できる工業人として必要となる基礎的な知識・技術を身につけさせる。 ・学習活動や特別活動、部活動を通して、地域社会で活躍できる工業人として必要な人間力や規範意識の育成 ・工業人としての知識・技術の向上を目指し、資格取得や競技会等へ積極的に取り組む ・卒業後の進路を考慮した計画的な進路指導の実現。

生徒の実態	生徒の発展をどのように支援するか	目指す生徒の姿
・規則正しい生活習慣が身に付いていない。 ・夜遅くまで起きている。 ・卒業後は就職を希望する生徒が多いが、進路に対する意識が希薄である。 ・義務教育段階での学力(知識)が身に付いていない。 ・自己肯定感が低い。	朝学習の充実 個に応じた指導(習熟度別) 進路ガイダンス 職業講話	・健康的で規則正しい生活ができる。 ・進路ガイダンス、進路講話を通して一人一人が進路に対する意識を持つことができる。 ・「わからないからやらない」から、「とりあえずやってみる」気持ち（探究心）を持つことができる。 ・資格試験に積極的にチャレンジし、合格体験を増やすことで、「やればできる」という気持ちを持つことができる。 ・社会人として、規範意識、マナー、TPOを身につけられる ・目標を見いだす力・進路を実現する力を持つ ・部活動、ボランティア活動に積極的に取り組む姿勢を持つことができる。

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働
・1年次習熟度別学習。 ・「朝学習」時間の設定。 ・学びの基礎診断の実施 ・著名人による講話の実施。 ・進学模試の実施。 ・各種検定試験の指導。 ・教育相談体制の充実(スクールカウンセラー)。 ・ICTを活用した主体的・対話的な授業展開の推進。 ・マナーアップ運動の実施。バイク講習会の実施。 ・進路ガイダンスの実施。インターンシップの実施。 ・デュアルシステムの実施と大学研究室インターンシップ。 ・課題研究全校発表会の実施。 ・ものづくりコンテストへの参加。 ・地域交流事業の実施。 ・部活動の活性化。HPへの掲載。 ・教職員研修の充実 ・保護者・地域・近隣企業と連携など外部の機関及び人材の活用

安心・安全を守る ・通学時の事故ゼロを目指す。 ・地震・火災・不審者等の緊急時に安全に避難する。 ・工業科の授業・実習での事故ゼロを目指す。 ・薬物乱用防止講話。	開かれた学校づくり ・学校行事の保護者参加と地域への公開。 ・異種学校間交流(小学生ものづくり教室、幼稚園児の工業高校体験) ・行方市の各種行事にボランティア参加。 ・課題研究発表会の公開。 ・玉工通信の発行とHPの充実。
--	---